



令和6年度 一般会計予算

91億7,200万円

(前年度比 3億8,400万円の増)

令和6年度を計画始期とする「松伏町第6次総合振興計画」に「みんなの笑顔
を未来へつなぐ 緑あふれるまち まつぶし」の実現が位置付けられた。この予算
は、7つのまちづくりの目標の実現を目指し、編成されている。

1. 未来を担う子どもたちが健やかに育ち、生きる力を はぐくむまちづくり

22億129万円 (前年度比 2億6,065万円増)



主な
取り
組み

○子ども医療費給付費 (乳幼児分)	3,929万円
○子ども医療費給付費 (就学分); (うち、高校生拡大分 2,000万円)	9,047万円
○産後ケア事業委託料	216万円
○給食材料購入費 (うち、給食費無償化分 2,269万円)	1億2,014万円
○学校施設整備費 (小・中学校費)	2,388万円
○防犯カメラ更新工事費 (小・中学校費)	1,188万円

子どもたちが安心して医療を受けられるよう、子ども医療費の助成対象を高校生まで拡大。また、育児に不安がある、産後のサポートが必要な母親を対象に、産後ケア事業を実施。さらに、学校給食費を令和6年度の第1期及び第2期分を無償化。児童一人ひとりの個性を尊重した教育環境の充実を図るため、松伏小学校に発達障害・情緒障害通級指導教室を開設。学校のセキュリティ強化として小中学校の防犯カメラを更新。

2. 地域で支え合い、いきいきと暮らせるまちづくり

22億4,091万円 (前年度比 1億2,571万円増)



主な
取り
組み

○介護給付費・訓練等給付費	5億5,168万円
○予防接種委託料 (うち、新型コロナワクチン分 1,836万円)	9,486万円
○後期高齢者医療健康診査等委託料	959万円
○高齢者タクシー等利用料	955万円

障がい者が自立した生活ができるよう、就労、相談、地域生活支援の充実を図る。新型コロナワクチン接種が定期接種となることから、高齢者等に適切な予防接種を実施。また、75歳以上の高齢者の方へのタクシー利用料金の助成について、タクシー料金の値上げを受け、1,000円券に加え2,000円券も発行し利用しやすくする。後期高齢者健康診査は、これまでの集団健診に加え、個別健診を開始。

3. 互いを認め合う、町民主体の地域コミュニティ豊かなまちづくり

2億1,063万円 (前年度比 1,647万円増)



主な
取り
組み

○自治会等振興補助金	400万円
○トレーニングルーム機器リース料 (B & G海洋センター)	51万円
○印刷製本費等 (町史編さん事業)	1,946万円
○図書システム更新関連経費 (中央公民館及び多世代交流学習館)	605万円

町を楽しくするイベント等を行っている町内の団体に対し補助金を交付。また、町史編さんについては、令和6年度は「通史編」を刊行。図書システムを更新し、インターネットにより図書の検索や予約を可能にする。

4. 活気あふれるにぎわいのまちづくり

9,621万円 (前年度比 △3,703万円)



主な
取り
組み

○町商工会助成金 (うち、カレーのまち推進事業 60万円)	600万円
○揚水機場設備更新工事費	809万円
○大川戸バス停車帯設置工事費	1,100万円

カレーのまちづくりを推進し、スタンプラリーの対象となる新規店舗の拡充を図る。また、農業用水の安定供給のため、寺前揚水機場の整備を実施。大川戸バス停車帯の整備工事を実施し、乗降時の渋滞緩和と利用者の安全性の確保を図る。



5. 持続可能で利便性の高い快適空間のまちづくり

3億8,273万円（前年度比 △1億52万円）

主な
取り
組み

- 道路照明灯整備工事費 1,620万円
- 舗装修繕委託料 1,400万円
- 松伏町地域公共交通活性化協議会補助金 1,350万円

道路照明灯のLED化を進め、省エネルギーの推進を図る。町道7号線（ゆめみ野地区）及び町道360号線（築比地地区）の舗装修繕を実施し、車両および歩行者の安全性の確保を図る。「松伏町地域公共交通活性化協議会」を設置し、本町に望ましい地域公共交通のあり方とその実現に向けた取組み等をまとめた「地域公共交通計画」を策定。

6. 安全・安心な暮らしのできるまちづくり

10億9,582万円（前年度比 1億4,104万円増）

主な
取り
組み

- 枝草搬入奨励補助金 40万円
- 東埼玉資源環境組合分担金 2億8,749万円
- 自転車乗車用ヘルメット購入費補助金 50万円
- 避難所開設研修業務委託料 130万円
- 照明器具交換工事費（ふれあいセンター、児童館、北部サービスセンター、松伏会館） 3,000万円

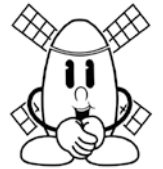
ごみ減量化及び資源化促進のため、枝草搬入奨励補助金を1kg5円から20円に増額。また、自転車乗車用ヘルメット購入補助金の交付を継続。令和6年度は、松伏第二小学校、松伏第二中学校にて避難所開設訓練を実施。公共施設と街路灯のLED化を進め、「ゼロカーボン」達成に向けて取り組む。

7. 効率的で質の高い町政運営を進めるまちづくり

11億4,193万円（前年度比 △5,862万円）

主な
取り
組み

- 松伏町第6次総合振興計画の推進
 - 【町の将来像】 みんなの笑顔を未来へつなぐ 緑あふれるまち まつぶし
 - 【将来目標人口】 28,000人
 - 【重点戦略（リーディングプロジェクト）】
 1. こどもや高齢者にやさしいまちづくり
 2. 次世代につなぐ活気とにぎわいのあるまちづくり
- 自治体DXの推進と住民サービスの維持・向上
 - ・行政手続きのオンライン化の更なる推進
 - ・窓口サービスの向上や納税機会の拡充



討 論（一般会計）

賛成
(原案)

令和6年度松伏町一般会計予算は、新たな「松伏町第6次総合振興計画」のスタートの年となり、こども医療費の対象を高校生まで拡大し、小中学校の学校給食を第1期、第2期を無償化。高齢者支援には、地域包括支援センターの増設を行い、地域公共交通計画の策定により、住民要望の強い公共交通の充実が1日も早い実現を望む。町民の皆さんが「松伏町に住んでよかった、生まれてよかった、住み続けたい」と思えるよう、その期待に応えられる予算編成と町政運営を願い賛成討論とする。

令和6年度は当初予算としては、過去最大となった。社会保障費や人件費、東埼玉資源環境組合分担金といった義務的経費増があり、その財源も国や県の補助事業の有効活用、各種基金、地方債などを活用したもので、厳しい財政運営のなかで組み上げたものと評価する。具体的には、自転車乗車用ヘルメット購入費補助金の継続予算化、発達障害・情緒障害通級指導教室を増設することでこども達の学びや居場所を保障することを評価し、賛成する。

「公共交通の充実」では法的・財政的支援を受ける計画を策定。「子育て支援の強化」では高校3年生までの医療費支援の拡充を行い、人口減少対策としての更なる推進を期待。「ふるさと納税促進」では、ラインナップの増加とポータルサイト拡充で、地域資源の魅力を全国に伝える機会を創出。「シティプロモーションの推進」では、新しい試みが計画され、地域活性化に貢献が期待される。「多様化に合わせた教育の推進」では、Society5.0時代に求められる非認知能力の育成を目指す。という評価すべき5点を含む一方、「戦略的計画」の不足が懸念されるが、将来ビジョンの明確化と生活の質の向上への期待を込めて賛成する。

反対
(原案)

国・県の補助金や交付金を活用した努力と、こども医療費助成18歳まで拡大、学校給食費4月5月の無償化、地域公共交通活性化協議会の立ち上げ・計画策定事業を決断したことを評価。一方で、生活道路の修繕、側溝や排水路整備などの予算は（十分）確保されていない。決算と予算を見ると、一般財源の町税、地方交付税、繰越金などは差額が大きい。（12億5,602万円）実質収支8億4,700万円である。次年度の予算編成のため全額を使えるものではないが当初予算に反映できれば住民要望に応えることができる。さらなる努力を求める。また、東埼玉資源環境組合は、第一工場の焼却炉の入替えのために積立金を増額するが、将来的に必要となる焼却ゴミの量に応じて工事費の負担を考える必要がある。評価できる点もあるが、早急に改善を求める立場から反対とする。